

01
目的

ルネサンスの企業理念である「生きがい創造企業」を実現し、健康づくりを通じてお客様お一人おひとりの生きがい創りに取り組むため。(ルネサンス健康経営宣言より)

02
課題・目標

健康経営で解決したい経営上の課題と効果

課題：⑥ 企業理念の実現

健康経営で解決したい経営上の課題	ルネサンスの企業理念である「生きがい創造企業」を実現し、健康づくりを通じてお客様お一人おひとりの生きがい創りに取り組むためには、従業員が、「心身共に健康のプロフェッショナル」であることを会社として求め、自らの健康を維持向上させるとともに、仕事を通じて社会に貢献し生きがいをも追求することを、健康経営宣言と企業行動指針を通じて社内の共通の価値観として位置付けている。
健康経営の実施により期待する効果	健康経営の目標指標は下記の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ●従業員のエンゲージメントの向上(EIS) ●健康サポートアプリ「カロママプラス」従業員平均スコアの向上 ●定期健康診断要管理率の低下 ●定期健康診断要再検査、要精密検査、要医療者の再受診率の向上 ●喫煙者0の実現 ●顧客感動満足度(CIS)の向上

自社従業員(組織)の課題と目標

●重点課題1

⑩健康状態にかかわらず全従業員に対する疾病の発生予防

課題内容	従業員が健康のプロフェッショナルであるべく健診結果で治療が必要な場合に医療機関を受診し改善を図る事が必要だが下記現状(2018~2020年度受診率推移) ・精密検査 28.7%⇒77.9%⇒38.9% ・再検査 17.0%⇒68.1%⇒31.9% ・要医療 21.5%⇒65.0%⇒29.7% ※2020年度はコロナ禍の医療機関側の対応により健診受診期間を限定し取組めず年度中の受診勧奨が十分にできず。	
目標	要精密検査、要再検査、要医療の受診率	
	数値	年度
	目標値	100.0% 2021

04
健康経営の成果

経営上の課題に対する健康経営の成果

健康経営の目標指標と成果進捗(エンゲージメント除いて、いずれも2018~2020年度の3カ年)は以下のとおりです。

(目標)従業員のエンゲージメントの向上(EIS) (進捗)wevoxスコア 2019年度69.0点⇒2020年度69.6点	(目標)定期健康診断要再検査、要精密検査、要医療者の再受診率の向上 (進捗)精密検査 28.7% ⇒ 77.9% ⇒ 38.9% 再検査 17.0% ⇒ 68.1% ⇒ 31.9% 要医療 21.5% ⇒ 65.0% ⇒ 29.7%
(目標)健康サポートアプリ「カロママプラス」従業員平均スコアの向上 (進捗)46.5点⇒57.6点⇒52.0点	(目標)顧客感動満足度(CIS)の向上 (進捗)現状、測定なし
(目標)定期健康診断要管理率の低下 (進捗)有所見率 41.5% ⇒ 45.6% ⇒ 46.0%	

03
施策・実績

健康経営の取り組み

●施策内容<重点課題1>

健康アドバイスアプリ『カロママ』ルネカップ(チーム対抗戦の全社イベント)

要精密検査、要再検査、要医療の受診率

	数値			年度
取組前実績値	28.7%	17.0%	21.5%	2018
現在の実績値	77.9%	68.1%	65.0%	2019

具体的な実践内容1

分類	外部サービス
名称	カロママプラス
提供元社名	株式会社リンクアンドコミュニケーション
内容	健康サポートアプリの開発、提供
導入時期	2017年度
選択理由	●効果 ●機能・性能 ●使いやすさ
評価(定量・定性)	●健康リテラシーの向上(2019年度従業員のアプリダウンロード率100%の達成)。 ●健康スコアが一部改善(2018年度:46.5点、2019年度:57.6点、2020年度:52.0点)。 ●「栄養バランスを考えている」従業員割合の増加(2017年度:37%、2018年度:41%、2019年度:44%、2020年度:49%)。 ●食事のバランスだけではなく運動も含めてスコアリングされることで、個人の生活習慣の改善はもちろんのこと、スコアをめぐる従業員間のコミュニケーションも発生して、集団としても健康習慣の定着が見られます。

具体的な実践内容2

分類	自社組織
名称	定期健診において異常所見のあった対象者の再受診率向上の社内取組み
提供元社名	(回答不要)
内容	定期健診において異常所見のあった対象者に対し、再受診を促進する社内取組み 対象者:判定区分「再検査」「精密検査」「要医療」の従業員 アクションプラン ①対象者に対し健診結果返却に併せて社長名で受診勧奨の手紙同封 ②受診完了報告書のない従業員に対し本人へ個別フォロー実施 ③同時に組織別受診状況の見える化を進め直上司と各本部長へ支援依頼
導入時期	2019年度
選択理由	(回答不要)
評価(定量・定性)	(2018~2020年度受診率推移) ●精密検査 28.7% ⇒ 77.9% ⇒ 38.9% ●再検査 17.0% ⇒ 68.1% ⇒ 31.9% ●要医療 21.5% ⇒ 65.0% ⇒ 29.7% ※2020年度はコロナ禍の医療機関側の対応により健診受診期間を限定し取組めず年度中の受診勧奨が十分にできず。 ●受診勧奨の手紙を社長名かつ色紙(赤)にすることで、本人の受診行動が促進されている。 ●受診が進まない場合は上長に対し対象者の有無を伝えることで、組織内の啓発がなされ、勤務時間の調整等の支援が生まれ、受診に繋がっている。

取り組みにおける課題や困っていること

実施している施策の課題	従業員の平均年齢の上昇にともない、健康診断の有所見率も上昇傾向にある。受診勧奨の取り組みは行っているが、精密検査・再検査・要医療の受診率向上に一定の効果はあるものの、100%を達成できていない。従業員の健康意識の醸成や、行動変容に有効な方策を検討しなければいけない。
今後取り組みたい施策の課題	エンゲージメントについて、wevoxを活用することで管理職が組織の状態をタイムリーかつ多角的に確認することはできる状態だが、課題の発見~対策立案・実行まで、各職場単位の取組みにとどまる。各職場単位の課題や取組みを会社として吸い上げ、エンゲージメント向上に結び付く全社施策を展開することが喫緊の課題であると認識している。